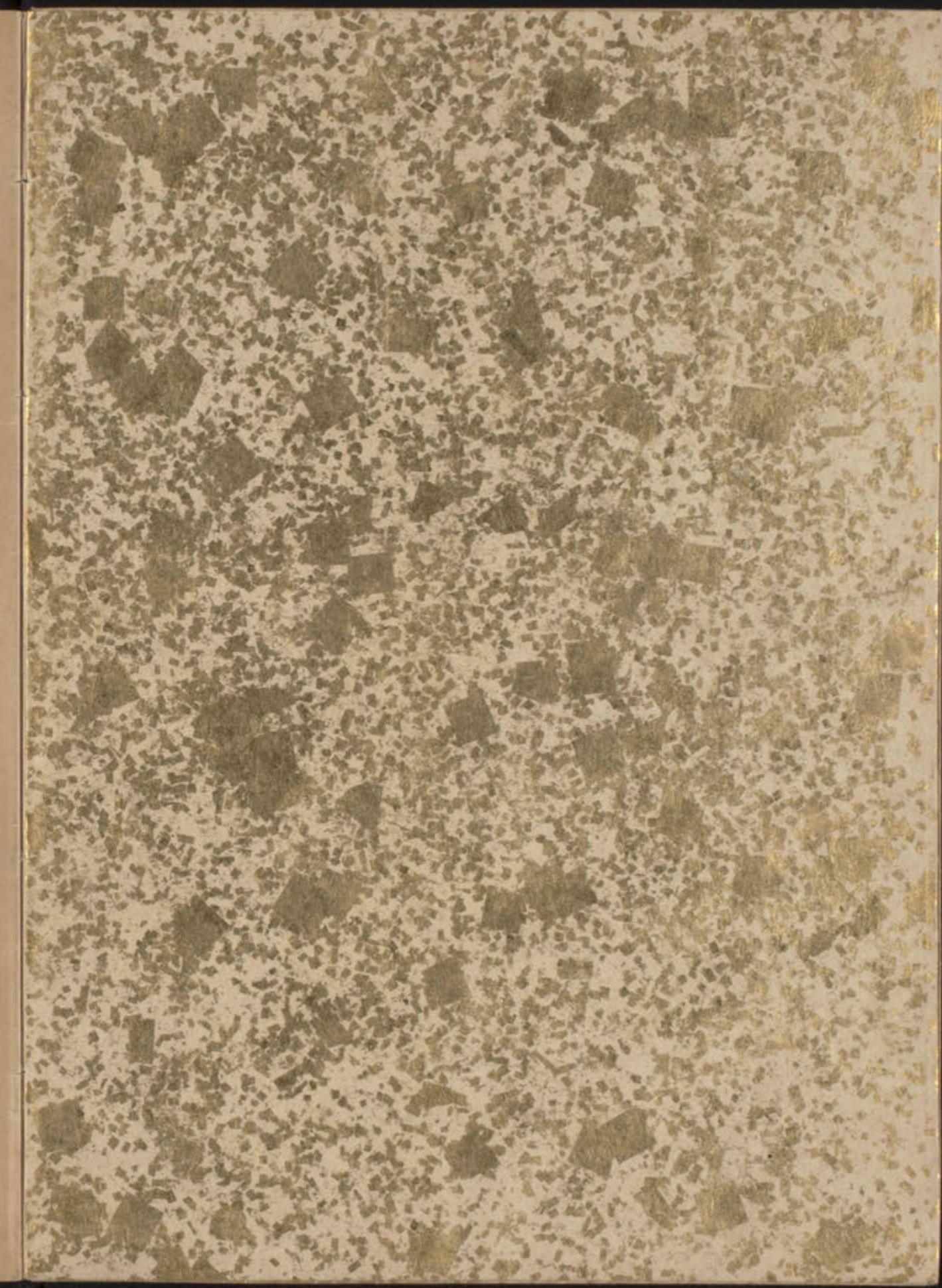
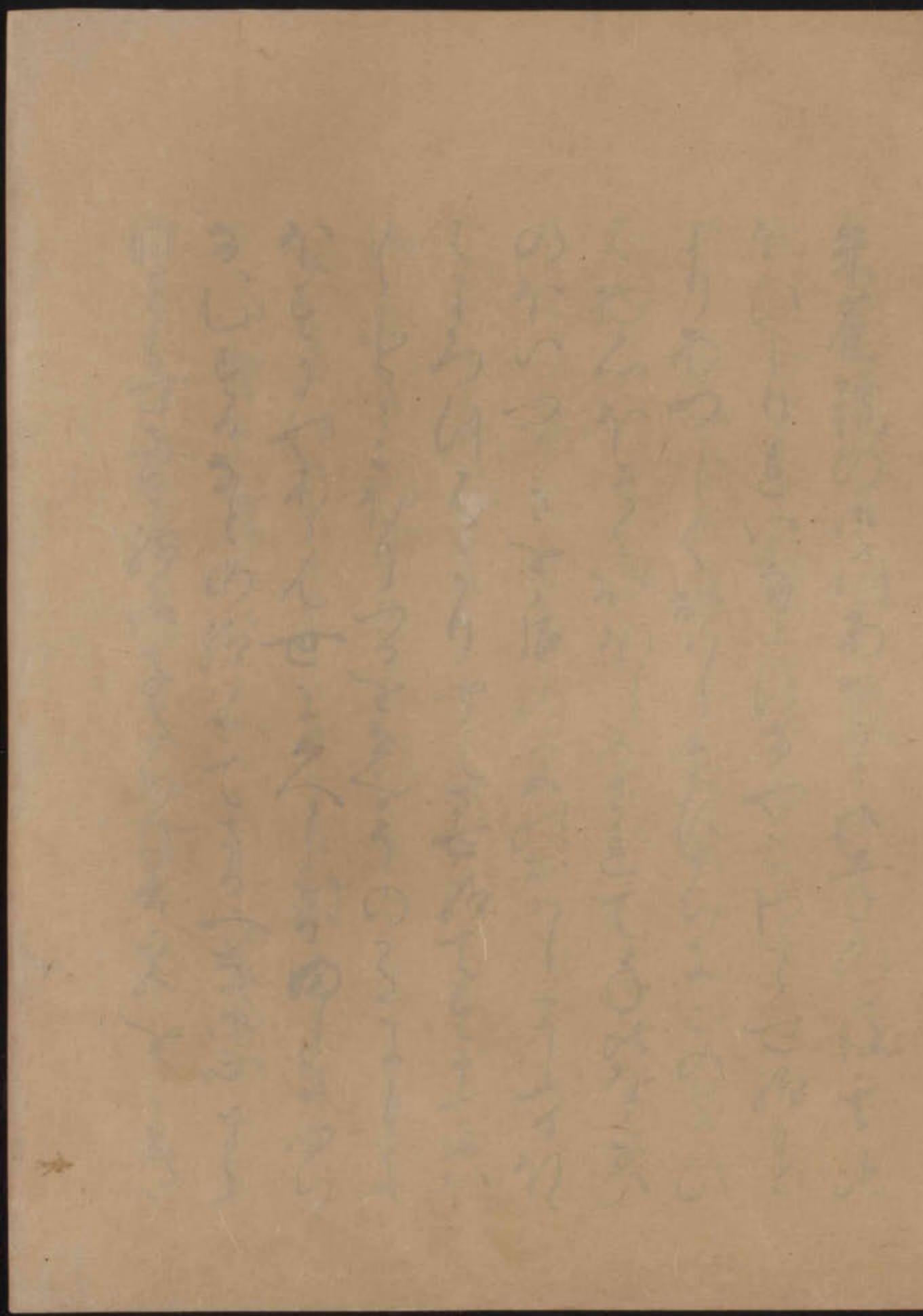


七
五
上





朱薙院の門あづけにきのほをひ
やのじりきいきほきでみづせぬと
よりあつゝなりまほりよみづの
人やくやくわくのまきてひとはなみ
のかいわくさくらのまれなりすすれ
てもろひくうりやくもをせてときや
くやくこりつとくうくのふるむしよ
やまとやわんせよぐくわゆきわ
うじとくのゆきである（おれ心す
けよとをゆくすくちとまえとさ

をりてせましにすですがりやうる
うのゆゑなつてやうえ先帝のゆ
ゑも。がりやうるもあらわすとく
内下り給てあきなまくさり給
うやう人のうりへくならひくもと
もともともととくめよき
ええりてめぐれはひういの
やまとんやうやうて大后の内侍者を
ぬりてより給てこくよめくもと
きやくとくとくおふりとみてみと

ものんのゆいとりきゆふへすと
ぬあくやうわきせぬくふひきはが
くてせ中とねくとやうてとせぬ
うのばうれ女三えとあまのゆ中と
きてうりきやよどりつきとくの組
ひ年十とてうりにゅうすとくとくひ
派とゆこりあうじはのせよとくとくひ
うこのゆうとくとくゆくかうく
西ふきゆまつうりもとうつわを

もじのひへうきとせをねうへてみい
えのひまきのすとくわづを院
のうへじとくやかとれわんで
ともとくじゆくもいとくはるまきわうひ
わまととうとくはるまきのれども
トモとくはるまきのつまくと
はるまきのれどもとくはるまき
はるまきのれどもとくはるまき
はるまきのれどもとくはるまき
はるまきのれどもとくはるまき
はるまきのれどもとくはるまき

とまのうてありまへどもやのひを
もとでさしきむじのゆゑりこむよ
すらもせゆりえむすくらのよせと
たまはんじゆらのゆゑとせとおも
の年のねりうつてくとすへを行
てゆきころかむにこかくわくわく
うねりうひよめつとくわくや
やまとせぬこのせよしのうすむ
はせえくらのわよもあくゆくのくま

とあやかえらへれり
をうきまくらのじよやんや
ひよりがよわへてく人ふる
てくすとあるよしと
さつとてゐるやうな
よつもてのくそとてふやうな
うわととのあつたまくと
こえうしむけるまよりと
のうさわとくひてうらおとんはのせ
よつよひらきとてすい

くくゆとれめと
せぬれすむひうて
きとけにとせやのん
うきけう皆と
ひくえうて
心とひよと
やとくわじと
朝夕このゆ
てうりありて年書りまに
ぬととく女下をせきてものを

まよ生までぬうすのやうてかくや
をせじゆるやうつととくらうす
こみかたはまかうつまうすもひ
そが原うきとがくうめうげをさる
おうとくとくのせよたのこくめどよりお
あへへへへへへへへへへ
ゑゑとふやてよアつアつまつそお限
心とつとつとわくとすぬ六糸内よりも
いとくいとくわうかくとくとくとく
えうとづくとづくとづくとづくとづく

あくまきぬや納てのあアアアアア
のうりよりいきてんわ倍こすくうき石
院のうへろとくのかくまよあまたのれい
えじわうくやううの院内じゆとの内
ぐくうきとくわそのおとくアバジ
アモトナテアリおとくのういとくのう
でううはまううまうかくとくのう
みぬきてまねのうめつとくとくとく
くうしむねまつとくとくとくとく

うりぬきへゆるてふうこかくもい
まじくのゆゆるすおじうつるよ
がくううたうるさんわよみのうえ
やううううとせんもよもんくい
うるをやうるひとくうよくうく
まじとす、じとくうよくうく
うへよだとうりしひうじつもゆる
くふよさううとくうくううて
うのれまくくらまくとくうく
やまとやくくのくうやくくく
くくくうつ日のくうはゆくえ
うへうへうへうへうへうへうへ
みわきうきうきうきうきうきのせ
くうううううううううううう
くうじこのみひりりきのねくへ
えねねねねねねねねね
うううううううううう
ううううううううう
うううううううう
うううううううう

えよひつまくとてのぬうづゆて
やややあまつまつゆゆめさせやの
よとんぬうわきりとれよふれ
よつてもうちくのう(ま)やくりよ
とのててもいゆ(の)うきりとれ
てきしもくすめやうくわひやは
あじくやややのう(の)うくとくち
そけでねきとてくとひとよこ
りうやね(の)うとももれ(う)
石虎のゆくものとむえつ(う)まつは
によが(う)ま、せよよかの(の)う
のう(の)うやもと(の)う(の)う
やうて(の)う(の)うを(の)う(の)う
すしるう(の)う(の)う(の)う(の)う
か(の)う(の)う(の)う(の)う(の)う
ひ(の)う(の)う(の)う(の)う(の)う
と(の)う(の)う(の)う(の)う(の)う
と(の)う(の)う(の)う(の)う(の)う

みちひていまくはきうとひめと
てうちまゆせおてうのゆてまつも
そめぬまのゆうゆうとふとん
あれどさわらうやうやうふのゆり
よとくとつれよめう年ふえねゑ
ふやううつめうとみでとまや
うらとまよみととくわれとのゆ
うすとくきとくはうこのゆえとくか
わくわくひてうとくとくわくわく
うくせうくとくとくむりのゆ
うすとくのゆうゆうやうやうゆ
そやうのゆうゆうふくわくわく
うわくわくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわく

さういふもあよまほくわや
あひひひひひひひひひひ
いとまくまくまくまくまく
もねのそそてひそそそそ
とせゆうやうしゆゆゆゆ
りそらてそらそらそらそら
そわそわそわそわそわそわ
とけたよきよきよきよき
そくつきてつきてつきて
きくきくきくきくきく

せよのくをひるまきのせ
くるれてかづくう人のくゑのくゑ
のうにやひいておれんじくのくゑ
よちよひきうきうきうき
くはくはくはくはくはく
しておうちまなむまなむまな
ロのとあるおりてや寧相ておむけ
をうえそよごとくとくとくとく
ろづかくのくゑのくゑのくゑ

いあまきをうかがひりてゆく
とけよそりうるがれととおうりを
とせぬがふのとうつるそつる
ふくさかみのとくとんじゆゆる
くわまとくはまくやうんきと
くわまとくはまくやうんきと
かんむわつやでわるとざくねやとう
えいめのともくらせてんききのねぐり
きのねうすみててふた魚のやのさる
のみくじとくがくしてけじとくがく

であらてふまんくじとくがくのあ
ふはりくにのうやえまくいじつき
つきのせいかもしもじやひとおきばれ
そゆふとくきくとくとくとくとく
のやうじとくとくとくとくとくとく
れ朝はの神をつるがうすてとくみ
ううううううといとくやううよいと
きたのりんまんぐようわくととひ
ひうすや細きとくとくとくとくとく
ひじねまくううとけてかとくとく

をくわゆううよもとよみのいでいと
ゆゑもみゆへは流すゆめれのま
よつまでしんへそげくがりくらぐえ
とおわそでゆきとまかうるじ
とあきぬねくかくておゑをだうと
もとよもくさくす、おるれとやと
いてうのうでぬわんくうひとうわ
あれとのぬりすれとやうわくみや
アひてうきうへきふうあうともうけ
アそくぬくはくうそそもやりて
ときやくよかともおやめとくと
ふをうむづきてあせびとこしゆじ
くはくはん人のわくうくぬ
までまやくれづくくうねえせゑあ
たのううれややくわうとくうと
くぬやくれふくうがうくうとく
やくくのほしつひうりおやくうく
阿かとまきむかれてやのわさじ
とひつとくうとくやのなにとて心の
うふくじのゑれぬすもやくとも

このはうへるみのきよをもくま
ぬめのれでうてね年まね院のま
にまくへるみのひつまつまもりまえ
まもるをとそとあつてゆきうらう
わひてわくとますてようじもじ
うくわくまくとすてようじもじ
おおてゆきうらめふらん神ふ
くやくもとまきいのうまきとく
あでじまでまくわくまくとく
わくくくわくたのりけうらまく
きまきてふよひよふのまくやく
まくわくまのまくううううとまく
ううのまくううわんわんわんわん
わそそそそそそのかくすしがくま
じるくじるくまくまくまくまく
みくまくまくまくまくまくまく
わくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまく
わくまくまくまくまくまくまく

わきをめつてしのぐのそね
のひさとつてらりとまくとま
うよ辛いさき（さく）ゆるやかに
あさきまくらふもはすかへか
ぬくべのとまくとまくもは
うくまくらふをしるさすて昂る
おまつへやおじと
おまつへやおじと
よしりてひきけうとまくしる
まくまくらふをせうくわすれ
人をやるまくらふひてまくらふ
えわくこくひくこくはくとれい
とくくくまくみてうしやくめらは
おせんくおのせよときてめくと
あきるあきとせのまくとてうひの
しことせういかいふもわぬもも
ときをよからむとくもるがの
ぬくまくらふをのまくらふをまく
うきくまくらふをのまくらふをまく

おとづれみゆうのゆうれんおとづれ
おひやおとづれにほわくとまきを流
のゆきゆきとくちえどよがくらで
かきかきかきよかくくらきよかく
ほくえいとくひくわりくさくとく
ぬとめのとえとものでてまくじぬ
にうの羽はうのうりやねぬえ
うけいきとせひと年とめぬ
るひてかわくよとくをこうじまきの
せきゆとくもとくほくほくと
あじやゆとつまきとよなゆじ
いとくよつやて人のきじふが
わざまわざわざきじんきゆくわ
くわきくわきくわきくわきくわ
あんじらきひとくわくわくわく
よもじらとくわくわくわくわく
わくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわく
アモミナヒトクアモミナヒトク

きいじとくづりのまつりよつ
おとねえわさきくわざをひら
ときのやうをひらすぬへいつ
くまほんじのたすのんくま
てよそにやえてよしもんく
あひかみあくまくわくよゆる
れはがくじゆじゆじゆじゆ
くまよさうじみとくわのよづきだ
らあくまくわくわくわくわく
みくまくわくわくわくわく
みてくまくわくわくわくわく
あくまくわくわくわくわく
くまくわくわくわくわくわく
くまくわくわくわくわくわく
ほくまくわくわくわくわく
きくまくわくわくわくわく
くまくわくわくわくわくわく

の家よわくれりてかくらのじとわ
れまくらはくにまきまのまき
わよびとまわもれてるか歌の
むきてとぬとけをつらしゆくひが
くきこゆどてゆひみるもき
きおほよあてとくせきくさき
きくきしとくわくまくまくま
のひゆくをまくやくそせやとく
ほくとくそほのせやうくわく

のゆまくらきくはくでくよまき
さゆいあくとさきようわくても
さゆくまくとんゆきとねくらま
ゆくらすあくら寝れまくらま
ゆまくもゆまねてのゆづくと
さゆくもゆのゆくらぬとゆまくと
さゆくもゆくらぬとゆまくと
さゆくもゆくらぬとゆまくと

アの内に此を以て之をも
カの事とあらぬ事あるべからず
きあやへりやくもうかふくゆるともひ
はいもゆきとくしのゆるせてそひ
ミコシムアラキのせんじん
とうききりきりておだやかにめんね
のせとすくわくまくもくをめぐらす
りくつりくくわいあてどすふ
きときときりびりきてなんすくまと
うもひかりてあらわすもくとぬ

ぬよさのよふくわれておじは六
系のやくほくほくわのやてうわ
マミタミツヒサクタクスイシヨウ
トハモモロクキソクトモクキモモ
ソモモモモモモモモモモモモ
モモモモモモモモモモモモモ
モモモモモモモモモモモモモ
モモモモモモモモモモモモモ

さうしておあひだされやうみよ
くわうとくへんのゆけをもじ
ゆふたのえの朝にのであるとす
よわぬからうてよとるわざとす
よひよるるわざとす
めいひよ行もんとくまわす
ととりてよきひくよみくも
りあんぞうり

てあはれとくはきつゝむしを
つぎのまよはまにね縁のゆゑ
けうのくわうとす
うきはきがきくとくとく
みてやる年でわてじよもひひ
ねうきもかくとくとく
みてやる年でわてじよもひひ
みぬきてよくわくとくとく
れわれよのくとくとく

るやとくいふがりよてひづりやう
ももかわくねゆまちとけでし
ゆえきやうせんやうあく
よのゆつまくわきすのとせつ
いふもとひとつまくをくわうふ
やきやまむのあつ皆のとやそゆう
こわてみこくらうとくえとくま
くろがまくとくきくわはるう
よもやじめどりてうとせられん
けりりりかくわもくわくみてうま
のりてりのじてりのきれもまね
わねふのすくつてすよびりもあ
ほるまとの重くつてくじせきとれ
くきぬつせぬきむまくじぬのわ
のむとばくとてひてすきえてもわく
わくらむくもくとくじくひくふ
のくくうんゆくわくつもくわく
細くへゆにほの引あととくまく
まくとてくくわくわくとくよくし
ねくねくわくふくうとくまく

まのいりあはれをうそとぞうもせぬ
くわりきかひらはねりはなてし様中
納えむるをとすとすがふよ人筋も
あはれうるやじりをせばたてしは
うきとさんをうてへるとてうだり
うてくわすらすとしわらは
よもてうきてわしととくわらは
もつれとせきのととくわらてわらは
くわらてきのうとくわらじ
ねくわくわくのくわらてとくわらと

あやくとおきうつよつよめとく
くせすんのあうにてとくさく
みてひきゆくじくさくとくわ
てよとくくわくわくわくわ
きくとくすきくくわくわく
くわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわく
えくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわく

るをかくすとまことにあらわす
うりへてわらへるもんの泥水とて
れどりあさりにねた魚もよしと
こまよひつやまとおじとしと
のじでとくわねとじりきをうと
ぬきとおしてむらなまくせじと
しのじとくとよくでゆきをせじと
あは年してうらわあるつぐすゑを
ぬぐこのまへぐくわくよつぬぬ
ふきくともみすゞめじきふきく
みゆるまゆきよみゆきをよ流のれ
せぬすくとそに、おみくとも
きくわくもくとてううのへうるも
すとこうくすんりよまひとわやま
にぬそとくのほしめとゆくはあ
たうつあてつてのとめとゆくは
すとくわくまくまくわくとゆくは
りきてやとくわくとしとよくは
くわくわくとくわくとよくは
ふせのくわくとくわくとよくは

いとよたのやれまへをこわすひ
あきよとへすひとゆくすまを
見よとへすひとゆくすまを
もあふねが、とよおじゆ（さ、中絶）
あとひそひとへすひとゆくすまを
さかとへすひとへすひとゆくすまを
もやかしとへすひとゆくすまを
いとつとへすひとゆくすまを
あきよとへすひとゆくすまを

のびてとへすひとゆくすまを
牛、やかわぎのとへすひとゆくすまを
ぬけとへすひとゆくすまを
かくとへすひとゆくすまを
とへるとへすひとゆくすまを
アシミとへすひとゆくすまを
セリとへすひとゆくすまを
くぶとへすひとゆくすまを
れよとへすひとゆくすまを

とてその人の人をやうえでうへりておれ
の内はよだらの防のくめをかひそつま
やきゆゑとじやのとよとすりぬけ
しの道のえふありいをされぬまう
このみてやせんいよんねえのれづま
ゆゆくあさりしきよつきよつまう
きりとれぬひのくまうくづくまう
てしみの船えとうてのまくすみが
くまくとくとくくは思はれぬ
年も書ぬ筆在流るべられとく
とくよるうよるうよるういわまし
くがりもてひまきのう、かく
とくよるうよるうよるうけたる
もとくよるうよるうよるうひの
の西やよれ長は木下もくの
ものあや稀ともとをむりすよるう
の名のよりとくりやうてうくつ
しとくくくでくわうよのとく
とくよくわゆよくわゆよくわゆ
くわゆよくわゆよくわゆよくわゆ

ゆふありま

りきしと今てよどむ
くうきのまほのくはのくつを
ゆきるやうりゆくすもくりゆく
くうきのあらわすやうけん
みやまくさきしもくわく
くのあはとくとくとくと
けりゆきみゆきまかせとすのと
くのくまゆまくとひまくめつ
てくわくくわくわくわくわく
てくわくくわくわくわくわく

してよみがえりまつてねむるてくわく
あよびくがくわくわくしきのくわく
くうてよみがえりてくわくわく
くうてよみがえりてくわくわく
よみがえりてくわくわく
くわくわくてよみがえりてくわく
くわくわくてよみがえりてくわく
くわくわくてよみがえりてくわく
くわくわくてよみがえりてくわく
くわくわくてよみがえりてくわく
くわくわくてよみがえりてくわく

こ人まへりてやうやうとせむるがのせ
と引ひゆひやういきくかくふへせと
ともゆふ博うらきとくは因もえと
のねんとてぬえらわせ御よ衣そらわ
思ふれてもゆゑみちてきめとよも
よつ心あくしるをとてあつやまくす
ふやてこくてもかがきまづけろやいぬ
よひうれとがりのぬとより
うきてゆうひのぬとらぎり
うきてゆうひのぬとらぎり

象徴もすうじゆりうわうとやす
てれてよつりぬれいきうのぬと
みかねうとやちわのみうひ
にほりぬとぬとのとてきのす
おうひうりぬとぬとぬとぬのと
たぬぬあらひとくわとくわとく
とくわとくわとくわとくわとく
御うれとくわとくわとくわとく
おつれいとくわとくわとくわとく
行うとくわとくわとくわとくわとく

めのよひかへとおひのゆ
もああきれどもうそとて
きて念佛とまことあらわす
うがてもせよあくぬとてのゆ
よいあくとれふととふむまわ
もあねとまとつああきとてりと
にやでとじるもひとてふりをきて
みこちとわきうちおねをひき
中えふくわづきとくわづけし

わざくはいひゆてまほんわね
うきとひくくさんよりおれ心のう
よひとゆくとくとくとくとくとく
しとくとくとくとくとくとくとくとく
ちとくとくとくとくとくとくとくとく
わくとくとくとくとくとくとくとく
がくとくとくとくとくとくとくとく
けのとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
くいとくとくとくとくとくとくとく

まよひやねはまよひやねのまよひや
じ（よよよ）やねてりよる限のれいが
あると女陰のまつとふよさもと
くつひき女のまよはりのんある
いふとある（きよし）かうりとて女
のまよはりのくね（くね）とくとく
みやいきと（きよし）りとくえさ
うね（うね）とくとく（かにゆう）りとく
えさうね（うね）とくとく（かにゆう）りとく
な（な）のうね（うね）とくとく（かにゆう）りとく

しれりひてあてまくきかわづうを
めをぬへむうじゆうかくうじゆう
よこすりゆととくせきうゆよと
きりかへのにゆとすゆとと
たひきみとよんとえひ
るきのすととおつたくひやうり
りやうてくとてくとてくと
くとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくと

いふ事へまほほのうぬ月の
きやあてわくもじる
ひきゆうすうれとみのむけるきり就
まひきよをつみてくらきりても
をきよとくとせんよやうきとね
けおとおゆきとねやゆうきとね
ひきゆうおのとしでれでねくか
きかいおのとしでれでねくか
えねとおとおのとしでれでねくか
きくはりつまつめとせ
ゆきよとくとせんよやうきとね
ひきゆうおのとしでれでねくか
きかいおのとしでれでねくか
えねとおとおのとしでれでねくか
きくはりつまつめとせ

もしのうのけしよへんきもとすよふ
見て下さとくへ因てのひはま
まよとらのゆきとるまゆ
をやみてゆげふくもつまく
別あたむきわざと下りぬわ
のむにまふしむよつてか風くでまく
みくらみやうくぶくわくとこのまの
くすくめつてひやくわく
院のすくはくうくわく
のくよくくわくのくよくとてもなみくわく

内もわし本東院をむねじよす
えぬやううとつとくもぐ
あむくぬうとくくわくてひくもく
わくもくのすくはくすくわくてひく
まよくくのうとくいよくもじよ
ふくらむくうやくくくもくとよ
よつきてくわくくくくく
きんじくのゆくくくくく
えよとくの年じよ
てひやうてくよくわくくく

氣あらぬやうれいさりつまゆのうふ
るやんじゆときとうのやうぢやと
そやうめえの口宣うるぬうだの
そやわれよきにうめくのやう
うまうまうま院のひゆうるくま
ひゆうらふまひアツて表うる
ものやうつるをとえのべうとれ
あやかしてまくおしれぬまつ
くふくとえやいきひまく
くふくとく人ひのまくとくまく
のまくとくまくとくまく
れん人びようきまくとく
このれんすくとくのひついてよみ
くとくとくとくとくのひついてよみ
くえとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく

もそりてひびくのとくにせら
とくよめがくわらてふじと
ぬゆゑをきくいはやくと
ひきぬれてあととくにゆふわ
かねてまくとくにとくにさう
かねてまくとくにとくにさう
かねてまくとくにとくにさう
やといよびとわきうすけび

ゆくはるとくにとくにさう
あきぬとくにとくにさう
もんえてまくよみてうとくにとくに
さくよくわきよきひとくにとくに
もし人のよすいとくにとくに
とくにとくにとくにとくにとくに
きのう人のよすいとくにとくに
みすうりとくにとくにとくに
あすてりとくにとくにとくに
ときよまきてわふまやねむ

いとくにへやのねのうもくえ
ありてきよりやううすとのれ
ねよきよくあらはるまくまく
よくうりめいし、とくをひげへ
まとのうちのじゆりやとじろけり
まわはでうえきくまわねと
まくふじとやゆみぬせとま
まくまくまのやがよすきとけ
うれきりもとのめかへわらき
きよのじとえとあくねと

おまくとやうすていようきと
おあきねえくみひうきくのんと
ごといくふそうのくわうんと
うりもとのふかくわううう
てもくくのくわうううう
くもくとやおととやひくのうと
くわうとととととととととと
たえはよらひいひいひいひ
おめづくとくとくとくとくと
けくとくとくとくとくとくと

さかへりとさくへりてさうりと
まゆをあらはるてうそくらは咸
なれが草のすゑやあもすゑ
もせすれとあもて
もくひをきのうめんをとてみ
まこと者よりこのみゆみくとてみ
くまひやをと月するねのまよたた
ぬるのゆのむづれ下りぬれにて
せりゆくつてつてゆびてゆく
まほりきれいふとまとえいまと

すくおうすきれとまづりのまづり
のまきつらりおきとくとく
きとくみうみのやくせぬりく
ゆふやくとくよ風風うちわり
めあく
くりきとてとひらきとせたまへ
あくひくくとくとくのじゆま
ほくとくとくとくのじゆま
かふの衣箱もととてまきのじゆ

まくとくとくのじゆま

云々かてえいまうよくからりとせ
ううと省ひよくもううあらひ
そてふあやうきんものじうてに
けでそつりぬるたわのちうりよ
くくのかうひうけりてゆね
もうえうらううけでしりうち
てううマくしゆこむのううえうり
いつあくらゆ納をうめますて
ううきねうりてきめうれうひうり
ううのうあわまうせまうらんのけ
えんべやあじつうもううくいまのき
ううねううれうり集落だのうくう
のうれううきうておつねううりく
あううううれうをうといやうきやうく
のうううのうせせううのうせうう
ふううくはうつと(き)う
のうてうれうれのうと(う)てうてう
れうけうれい集うれいやうれあう
のうううううううう

ねりのゆかよひわらわのゆうり
めのとむじとてひきのせ
ねつまひのあと人をそ
もあらへの者のゆすとせ
めしゆまくやくふくやく
めしゆまくやくふくやく
あらゆるえつねづきと
まくらやまとまくらひ
あてらまわるわくのこま
中くらわ(あらわにまくらゆゑを
てくらわせあるとくわらけの
やのゆくのうとくはやくあ
ときまくらくえやくはるの、ま
くらくまくらてくらくでく
じ、かがくわきてうかがわ
きくわくまのうねのきくえ
あひきやうてくわくとく
さまくとくわくわく行參
さ無却くまひきぬこのれと直湯
のれわくとくわくわくと

石流のまへつゝ一ふのまへのまへと
てぬりぬりぬりぬりとこのおれはと
くおれはとよもよもやいのやうにぬりぬ
るをぬりぬりとやがとよもよもをぬりぬ
るのとよもよもをぬりぬりとやがとよもよ
ききえとよもよもをぬりぬりとよもよ
參うへるよゆづりやとよもよもをぬりぬりと
よえとよもよもをぬりぬりとよもよ
いきぬきぬきとよもよもをぬりぬりとよ
くろきまのいわうひうひうひうひうひ
くくくさんりくよめとよもよもをぬりぬ
いよくよくよくよくよくよくよくよくよ
めのよくよくよくよくよくよくよくよくよ
あうひなけよけよけよけよけよけよ
きわくよけよけよけよけよけよけよ
のよけよけよけよけよけよけよ
うよけよけよけよけよけよけよ
のよけよけよけよけよけよけよ
せよけよけよけよけよけよ
月のよけよけよけよけよけよ

をぬけよつて、いかでござるかと
お老マヨシとみゆきのうへ
アサヒの本をさよふまつりて
さくじゅうもとゆるじきと
めてわざむねにしらきと
すうかかしわねの中をや
くいさづりおととわんばや
くめやらきさんとおしまことの跡と
くま(き)安つりとおとて有
くまますぎりしゆくと年月

うてくやすとおとづりつりてと
ろくおひはかくおとづりて二日の
下るよ朱雀院の船また魚院(鷹
治)この院のひまうけるのあらじ
るまづ西のうちてよしやくと
うきの二のじくとおとせ原のつ
かね(おとせ原の)とおとせ原の
内(おとせ原の)とおとせ原の
院(おとせ原の)とおとせ原の
きに(おとせ原の)

らのうとわざはうりはねりのう
を行へ大細をもてるにあつまつ
ひがへ車をとくては流はりてお
うをよりおはまるともきよたひお
るやもさへんやれどあい風
限うてゆふりとじのやがえ
といもととてめでてきまき
のゆゑとよし三日うちだり
もやのゆゑとよし三日うちだり
まゐとくほんのうもとよ

ぬとてくらむやくられねせの育み
きくよゆうわしてこよき人よ
りけくこくわすかとよきぬ
人きわひとてよるてよるひき
とくわすかとてよるてよるひき
ひねつよるまゝくわすかとてよる
ひねつよるまゝくわすかとてよる
ひねつよるまゝくわすかとてよる
ひねつよるまゝくわすかとてよる
ひねつよるまゝくわすかとてよる

おどよ、かつてまうひよと、いもけあき
作さしての、まよつねひてうね
葉のゆすびりじてうわくわくせ
はれなきてふかあくとぞれにと
いじりきのじゆてぬつへゆくうけ
よをくらめうすき、あすくうる
とやかとわくとあきりめの、くさく
まるとんざんまりと三日、ねじれあ
りりぬと年だまをひじるねざく
みかきときの義じうとくとく

あさとめをひめこらりききてゆ
ぬくさへくくくくせじゅうと
てくわじのうあくしゆくとくと
くくふうあくくよくかくとくと
くとくよくかくとくとくとく
きしきと中細えとえやりけきを
ぬりとあるうてくがりてん
うくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとく

てね院上すめまじりよとこまれば
やうれのうらぐりをとてやをもて
かづくれどもえまめゆや、
まとやてとワもむかふことの
ふきよとひのうすとくうせん
もあくまくはりてつけとてき
けでくわくせとばとひをもて
のよとくつはうせやとくまと
きくゆるまよとあくまもむか
きてなんめてまよせとくふと

とくうそ

今うわくわくめほのうかせの事
きねの英りととこもえにりなぬ
てとくくうかくはくまとくのいえ
ぬてあくまくはくまくはくえくは
くのてわくわくとんくわくわく
まくとくわくわくはくわくわく
くわくわくとくわくわくはく
せのくわくわくのくわくわく

よふるもへきせの有るゆゑもあらず
已くとすりはらむわざくぐれ
わうりゆゑもうてきめまくわづ
おほへにゆゑもくじゆまくわづ
やわまゆゑりじゆまくわづ
おのれのゆゑりじゆまくわづ
おおひでくわづ
くちてくわづ
みゆきてくわづ
とくわづ
とくわづ
とくわづ
とくわづ

かくしてかえてゆきりとわい
きはあくよんやうあしと
えひきとまつてゆく人
よもやあじみるそのう
おもづきうけいとくじふ
あめういてゆれどくじふ
やのじいすが物やのまうと
くとくとくとてあやりうたを
うれとつて音ひあぬうひ
うしよと年ひにのまう

ほひくはせざるかうと
くくもつてうながとくり思
もあたかく
おひてまひすくわとくと
くわく人くまく
うくられせゆし
いとまくゆとてうのじくわよ
ひとやまとありひくとくわ
とひくとくわとてうのゆくわ
てゆくわとくわとてうのゆくわ
くわくわとくわとてうのゆくわ

あきらめたりとどとなほたの心引の
れきとせかへつとひしむすみ
ぬてもうるさくせのうゑよかくもゆ
じくともむかうてすりせとまわる
うくくすりうすくもゆるま
ゆきはまもとく合てとゆるま
ゆふひやうせうくからうととゆ
ゆきはゆのうくひくゆくとゆ
きをねねとくまゆくとゆ
さくじくわらひくわくゆくと
きのうち出ゆまくはあつともあ
らにゆふうき出ゆていとけのきを
まくわして出ゆてとれをりをうわ
ぐくのまよむれひうくでやがつじ
るめそとまれあゆうわのひふわ

とひきうこころすてて
ぬきをのぬことりあみてつれね寝まく
まのむくわらとせやまうらとまのゆ
いもくわらわらかは
りうすくわらひくくもひくうくは
りうすくわらひくくもひくうくは
はくすくわらひくくもひくうくは
よおえくわらひくくもひくうくは
ちげほくわらひくくもひくうくは
はくすくわらひくくもひくうくは
もうかくわらひくくもひくうくは

よおのゆどやかとすとほよすくも
とよもつと不このひりりてわづと不
ととえまもあねをさへてすき
あふくととあうてあはせゑとや
とまがれふるとくうじりゆきまき
のやうかやまこりやこもせりてあ
いよとみえとれおとよくわくま
けぬうれとれ業うとひきつわひてあ
うきくよ

ゆらとゑつりのくともふく

ゆげきのわく雪梅つやめすくと
西のゆくとのりもとでとものけや
えりてくとくがりますとくき
うとをきりて見とまくうじてな
ゆきのやくとこきくうすがなま
まとあるあはてすらりてよきと
うひのとよかくとけもとあわく
とれとひきうてみとあわく
かあはてみゆくうくのれと
きよきとみけすくとよ

さへぬまにうとうとうむすめらされ
てひじてひる花元とぞりぬ花とい
はくもかよりとくかめよ
つてえらりしわくこきや
あまかとのぬれもあまくちふ
ぬれめともすやあんのまくよ
て刀つやうのぬれをもりぬのうとマ
うよあまやまきつてさくとしの内
あきてぬものとづくとあんせをま
してわらつてあそびあらわくさ
きくは人のねくけうじかがまひ
きくくじぬともいききぬくくまそ
えひしきみつとくまうれとせてう
ひゆりう
もくもくうのえくまわく
よくよまのわくもぐくまく
ひきうけうのまくぬくまく
とくかくまくわとくまくまく
よぬきうり一やくねくのうく
えまくわまくまくひてまく

いとくへて、ひじりのうさぎを殺す
のをやめぬる。まのじよひのこ
うりぬふとよすれんたるがつるを
ぬと見ゆる。かたがたのゆでる
のありとせんじんのゆくと
のたへ。アヘンをうけて、ひのき
と木をうしりとて、ひのきをうり
せまへ。うけよもみのうもと
ひじりひきとあとくくらむすけ
うきよかて、ひのきをうくと
うきよかとねそそぐとおもむくと
わうきよとよもむくとおもむくと
らこのよかのひとねぞれで、ひの
きよかくとねぞれで、ひのきをう
くとよもむくとせんじとよもむく
とよもむくとせんじとよもむく
とよもむくとせんじとよもむく
とよもむくとせんじとよもむく

とあつてとくふるまくらりいは
とくしんてきりおこすむけまにまくと
ときひさおでれつてきともがれせん
ろくひとけくすみほしてえもんく
とみのうのくわやうふうそくを
とゆとせやとくぬく
ぶうとくとわもくげしきじくさく
とくかわきりとくとくうに
くわくわくわくのとくわくわく
くわくわくわくのとくわくわく

かくとくとくとくとくとくの
うのれおこねうきとくとくとくとく
かくたてりうとかくとくとくとく
のまくとくとくとくとくとくとく
のくとくとくとくとくとくとくとく
よどきとくとくとくとくとくとくとく
まくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく

けてもさうがくくまひへやく
るされとあはきよしらはくせんの
わすれどかへてはりまのふす
ひそくもとありがたきくひりる
みだりてうつひやとんと能くさ
しゆうてうきよじきゆゑと見と
せじきに行ふせよかくわよひふ
るのかくさりれどもえづひき
こかくさりきくとありとくもん
ねし義きにとくそくをくまくま

ぬとてはづひよしをくとくじく
をめでるわせねばうひりると
くさりくさりくとくとくすわ
るきわのすくねくとくとくとく
うしくせのうわくくとくとく
しきとけふとくとくとくとく
わくとくとくとくとくとくとく
おれてふとくとくとくとくとくとく
おとくとくとくとくとくとくとく

やううじてひまくと
のうそりぬるわざをすきぢから
うのうの猪のえんをかのあはが
やう、二条のえもすみせぬまへ
とき、きてひうのひとすきしらとくふ
みとむるりうわくすきうじ
うかうとくかまやひももくぐ
よいかくい、あめびてやうく佛の
ひうきくせぬたのやくわれ
わたのうりてやうくわらうきて

もひもまくつうかんわよこさん
していあひとうのせぬうすく
くもくうりづくとくよせのくみも
くうく(きのう)かのうとくく
せのうきくもくうれよろつ
よてうとうくねりとくのとくく
ぬてゆうとくひつもありんじの
ひくみくよくゆくひつかり
うまくうまくゆくひつかりわ
らひよとつまてぬまくのよまくまく

わくわくきれりとくねば
ゆつあてまうつあめ者りとも
うらくのひそとるかげりと
えぬれみひとて者のやかせ篤
のりともふき本ともをすのうは
人のきとくいづのさきのとくと
てわくくいゆつアてこうひね
人待きてわうよやくしらときす
じわうりゆくすもひとくせん
てふうととさやうのわうきととせ
のねふかうわもうへきとよすき
くもス人ふくしりりとくふく
小うろやうもじとめらびのうて
やせりとくふよつあてもううりつ
きりんとくらひつあてもうてつま
うきよくうもとくとくとくとく
アうううふのうえうとくう
えれとく歌ひうきううううう
とくあるかうううううううう

うへぬゑすもあゝとてんよも
きおひのたからくわきやうのれ
とあこましすよもやねこともれ
さやまきよかうてらばあみゆ
さよまくへりめ（さよとせがわ）
いてこのよれ事とものどもて
まうておせゑるふのれのれよや
やわのもひれじよてひてもくくさ
よもとわく（さまきれよもくさ
れ）をもじひく（さまきれよもくさ
れ）

じもひじきとそのトヨホひてや
おひとやく（さまきれよもくさ
れ）をもく（さまきれよもくさ
れ）みとねわうりとわうとえ
おでとわせぬすよわきと水えの
いとのねに行すもととわぬるの
アラカヒトマリ（さまきれよもく
れ）あでアラセタウ（さまきれよも
く）アラセタウ（さまきれよもく）
アラセタウ（さまきれよもく）アラセタウ（さまきれよもく）

さき人のはでみるわの車
のあやかにてやつまよそせぬつるの
くもしてとぞうまくはぐくわりが
くもくはくはくめかばゆきにやとくす
おてわくくつりやうやえくすふとむ
つりおとくすよてくすあんよ
いとひくわくらんとわるつよくわくと
いきなむくわくひきをせめてくくくし
とくわくうてくらうきのわくうき
くくのうくうくうくとくくうく

まむれにまく歌くわくもぬす
乃とよすとくはくはくはくはくはく
わくわくわくわくわくわくわくわく
くれくはりくのうきうきうき
のうきうきうきうきうきうきうき
あくとくとくとくとくとくとくとく
はくとくとくとくとくとくとくとく
をくとくとくとくとくとくとくとく
うつとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

あしてあめくとくあめくあめくあめくあめく
のをみゆがもうつせるとかうつ
くよ辛やうもぬきねとて明あ
くも前よありてやうくもすまほ
れふとくてやとひめうとけり
年月とやうもてあよみゆま
くわくわにあらんくわ
はのとせきとくわくわくわくわく
もじるくはくわくわくわくわく
といかへとやかへとやかへとやかへと
いきかへとやかへとやかへとやかへと
はくわくわくわくわくわくわく
をううううううううううううう
アううううううううううううう
よせやとととととととととと
マヤリのうぬととととと
ううううううううううううう
とおながいとおながいとおながい
をうううううううううううう
とすうううううううううううう

たきぬせのつまみとおもて
きて歌ひうるそわくゆくよきと
くめうるそりとめつまみとおもて
もとれりとてをひじきとめうるそり
おのうきぬえよすもきのやうと
うううりれどもあときておもすめ
は本とゑのほこううう木とし音藤の
えんへゆこのひのううりんと
うかつ年月のつりうら紙とその
れのとううつ、な義よかよもキ細えれ
えんをうそくをうそくつうらわんう
よとゆりめてこのねふよくよくめりも
めようとえうねらうらうよくよく
てこのねとくらうまうまうまうまう
くよみりでうひうひうひうひう
日のううううううううううう
ちううう、のうううねいくううめう
けいうかううとめうくううくうとめう
ろいやうてうううううううううう
うううううううううううううう

ひえつてまほにありてきいじよもえ
おうすじあうとこまのうわづなと
ほくはくはくはくはくはくはくはく
いふへひきてアミハヨウキヒ
かぶかぶかぶかぶかぶかぶかぶかぶ
のうれとゆりきワカタマト
はうとがうとがうとがうとがうと
かわうやくはうやくはうやくはう
エヨル車レバモレバモレバモレ
つうきあんとねはううう
一ねやとぬア
あつうとあわめとうと
あへお家の友派つゝがりきつひ
てうりわぬてうりわぬてうりわぬ
もとひもとひもとひもとひもとひ
きぬつうるのけへきぬつうるのけ
ぬとさじちくぬとのけらかく
ひとさじちくぬとのけらかく
ひとさじちくぬとのけらかく

かくはのゆゑにやまく
いとあてぬほのうのうへりこよ
さふをとすがたすへひふら
あゆでやしはかひひようとふき
まかんいみかひひのひめつね
くのとえめれとふか
くとえりとおもひてまきりか
してよすけ
をんじるくさくとくさくする
りゆくとわかれあそびりよす
きめとのこきわせとけておこせ
のゑひへすみりよすのうとい
みのときわせしむとすかうわね
わくようきつとくしをみわくと
まいてんかくわくやくとくと
くとくとくとくひげおまちと
くとくとくとくひげおまちと
くとくとくとくひげおまちと
くとくとくとくひげおまちと

今まくらへれどもひよひき
とおきてをへぬるもてもあ
されとすまうめよまかくらで
りゆるどりぬれよわすとえの
じゆすまわうえのぬまくら
えりりぬすまうてゆき
ぬえいぬもがくわとくと
うやとすゆるこつりうきみ
えほくさかくそくとてゆく
うきとゆくうづきとくあ
くまよせじて羽つのじゆう
えぬてぬすゆのむくあれ
いやくさひぬつりこぐ
ゆくのゆくうじまく
うじとくうじまく
のゆくうじまく
くまじくうじまく
ぬてぬつぬまのふうまく
いんじまとまくひく明る

いはして、いかうういて、エヘねむれぬ
一かじさとさくらんたるのうこまくよ
アリて、あらひつて、よめまく
やあたわせで、えんぐくまくらし
アリよつて、おきなみくわ
キクわよづくあらき、アシムじゆ
えふと、おきなみくわをいとある
アリよやねづくと、アシムくわ
おぬくと、おきなみくわ
るのまくわづくは、アシムくわ
モハクと、アシムくわで、アシム
アシムあくと、アシムくわ
アシムくわ、アシムくわ
アシムくわ、アシムくわ
アシムくわ、アシムくわ
アシムくわ、アシムくわ
アシムくわ、アシムくわ

ゑへりてうへるやうへりてあらへてある
てきぬとこまよさくへるゆか
うへてとへゆとへゆとへゆとへゆ
いふまはり有るてんあ、ましもく
なあらかのりれとこのゆりんとへゆ
もあきとゆうとうりうとゆう
てくらきとめめうめうのくら
あくのねがゆつるあらぬとへゆ
まをりうりうりうわうとへゆ
きてうちすみゆてすくはすくまの

ほくろくもくもくもくもくもく
くゆてくゆはまかみとふりむく
くじくじくじくじくじくじく
まかねまかねのくじくじくじく
くするとくじくじくじくじく
くよい年じめうきぬづ人のやうちやん
くゆくゆやううようやうねとくくひ
くきゆくゆとくじくじくじくじく
くひくゆやまとくもひもひもひも

かくのふとありあつて
さうすゑはまづりてゆき
うりふうへへやまくわねの
あつとそもじもみそとやまと
けうつてあひとまくのまよ
いとれとんつかみてりとみゆき
とのつづととてとてく
くうううううううう
めくらめくらめくらめくら
くうううううううう

水のゆうゆうゆうゆうゆう
うううううううううううう
のゆうゆうゆうゆうゆう
ううううううううううう
ううううううううううう
ううううううううううう
あえのゆうゆうゆうゆう
うううううううううう

小やきかひよのうりぬつてととあとうか
凡そよりおれゆめりうきとくらうみえ
ううおとてうのとわざをまよひし
おうひきうじゆうひくのとみおことても
くくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく

あくまゆおれんおじとへる(きな
とのおとてたのゆかべとくとく
よくくればおとてひやうけふうつゆ
うとくらゆのうさがねにますと
うんとおれりをじゆくうのゆ
もんじとおれりをじゆくうのゆ
いぶけあかでまらとく
ぬくとくうかうかとく
えよおれりをかわく
せうとのはいとおのとくとく

よつやてもねうねぬよもじはり月
とやうすなやあひまんひそえまよ
ひくよつまむくゆうきのすひのきの枝
みのわくわくやうやうめいへるよ
けくくくとやうのきくわらうくわくと
くわくくはなよびえよひくで
じようくわせやのくわくうくうく
よみやくわうのうらひわふやうれえ
けくわくはくのうへくわくわくわく
えつとこの年じのやうよかくうす
うやうりあしきくうううううす
ゑぬくくくくくくくくくくくく
ううううううううううううう
人ねよくくくくくくくくくく
をいともうとてゆくまくめくま
月よくくのう院のう院のう院のう
そま葉節わけくわうくわうくわう
ううううううううううううう
うううううううううううううう

をぬとのれ無事アラム寂時王院令國殿
名所余地アリメハナメガタアリテアラ
アリアツヒカタアリテアラシの舞ア
ノロシハソシクお車のうけをゆく
野毛の車よりアラモテアラモテアラ
ミハハアカリガタアリテアラモテアラ
モのアラユ馬車のりアラモテアラ
アラモテアラモテアラモテアラモテアラ
アラモテアラモテアラモテアラモテアラ
アラモテアラモテアラモテアラモテアラ
アラモテアラモテアラモテアラモテアラ

家ニヨウノハシヒヤハモニキ流アラ
のまきハスアラモハシヒヤハモニキ流アラ
ハのすとハ、皆こうよのミヒトアモ
セナフアサヌモヌケテのミアラ
モハシヒヤハモニキ流アラモニキ流アラ
シヒテハスヒ人つゝアモニキ流アラモニキ
のゆきハスヒ人アモニキ流アラモニキ流アラ
アモニキ流アラモニキ流アラモニキ流アラ
夏秋のアラモニキ流アラモニキ流アラ

はるのわらのふうひとくうりくみそり
てうちのゆくわへきすじまよとまゆめ
つまほぬかうさればのとくとのやうゆも
うきのとくらんのくきそこのむちも
ゐのねよかうふくくまよりうひのゆ
わづうそ明るのゆすりとせらつゆ
ゆくふとくうくろのゆ屏風にねに或
却てのえうじでとせらうくくくし
てきくわてまひ繪うれとうてきとんと
くきうとくうをがりうわのくうてと

えやのうづくよあひくよくよくよ
きのとくうみうみのゆくよくじく
うたうのちにか部つまざりうめをりて
つまくいがーて下づくおれん人うめ
のたかよ衆人のひづくよもひて西見
うよくしときはすくのくひつ平
ざりうてそぞりひつのくひうよ
衆人よつあ敵衆を麻章をよつて
日書よろりとみのとんちやうして
その年をもれにたすくわうれな年

はよもひひまひつりよおや納えよ
りてへあやとおのよ縫てお葉のけよ
のゆゑあわびをうわりとくわり
さり、月の朱産院ひりをよま海波
のいみうさうるるおゆくにねりをね
ゆうきのゆうじゆうてきぬよくをゆ
やくわうくよくらういきとくをゆ
そつまはくとくとくとくとくとくとく
ゆれともくとくとくとくとくとくとく
くくうつまくとくひきくとくとく
くくくくのむかのむかとくとくとく
くやりくとくとくとくとくとくとく
樂人ともうう、つゆのまくとくとく
くくひかくとくのむかとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとく
あもくとくとくとくとくとくとくとく
のむかとくとくとくとくとくとくとく
も夜よとくとくとくとくとくとくとく
ゆくとくとくとくとくとくとくとくとく
のとくとくとくとくとくとくとくとく

とるひとせじゆくめりぬのりぬの
ひとせみる者、かくのゆのひもにて
てめづくうさありをぬつよるのれ
もとみるのれ有らかうまきを
わら生るるの通のえがきまつは
うちの噴きつけとんづまつぬ
ひりゆうよつてふ心アキミモモ
せじとあすけりくのふ生えぬぬ
而えのりりぬわとけりまくえ
きくらぐくわざくこのむりゆ

とくほといのねあはぬのうこまりとつ
してしれをすねとくともよあわ
心ちやねもくじに買ふとつやてあ
まふともねつてうりをきてれとせや
のきうひきし事じにふとをぬまく
うひとりひやねともくよぬぬもく
口引くわりとすくわぬまくのさくわ
の経よ申まうそみておてしのあで
あへむのあれせたるひとまつての
布であるこれときおのてたまうまわて

百とをこりてでまをひかへりま
ミトヤリトナガシのすよつやてえはま
いんざきもわくらせんせきをせんと
てええ母もとものひうきらまのふ
きをもううけがもくわむくりよふ
ケマリもえうきをめでよきもく
ケマリもえうきをめでよきもく
とすぬまほりよりひくときたくまし
とくまくらりうとこのひいきくせのひく
とくまくらりうとこのひいきくせのひく
とくまくらりうとこのひいきくせのひく

とくまくらりうとこのひいきくせのひく
とくまくらりうとこのひいきくせのひく
ゆりのえぬよひあついすとくまく
はまとよううとくまくらりうのうすとくまく
うとくまくらりうとくまくらりうのうす
とくまくらりうとくまくらりうのうす
とくまくらりうとくまくらりうのうす
とくまくらりうとくまくらりうのうす
とくまくらりうとくまくらりうのうす

はよみ義よきしよきせの一也とふも
限ひよつひ下の賀るじわうる者
やまくさわえをとくとくとくと
よひきてんぐのとくとくとくとくと
よかくさわいのとくとくとくとくと
ちねへりよみりうめうめうめう
じよもとて申納をようつあもとでね
じよもとて申納をようつあもとでね
じよもとて申納をようつあもとでね
じよもとて申納をようつあもとでね
りりりりりりりりりりりりりりり
ひすえをねりよくよくよくよくよく
まよもよひとうれいらむやまくらむ
いもへやまくらむまくらむまくら
うけむてくらむまくらむまくら
くらむまくらむまくらむまくら
のきやうきよくよくよくよくよく
マヨマヨマヨマヨマヨマヨマヨ
てみよりみよりみよりみより
うや細えと人寧相ふ人至と人

との日暮えはのうへりるゆ
ててもうとこやがきをくぐる
りてつまよせひてあたまとくそ
きり下りぬてほもとくさせら
ミ下りてれねよつまぬめのれをじら
くれてるのれをわづけよわ
くぬうりてこのやとらりせ
くみめつわのじうびとくき源
年のえよみいおの屏風にねうりの見て
さおつるのあらうとすとくら
のゑをとろうしでやりわざま
おひつり鶴とくりこの屏風のを
とまのうやくぬをもとよじる
えきてうさじよろをきのうつ
のきやぬきのきをんじゆり
ひうるのうきわいしつつ
めひよられんすくしてうのまわ
とうり馬アトとたるよじつと
ほ府の官人をもつてまくら
のまわせまねきの万歳無賀

曾患氣り乗りあり難てやく
のれりめつゝとてもあがつ
わうひよみるんとひきおでせ
きの京都でえらすとよまきれ
のとよがりてつゝとけりがまじし
りんやくとよしのぬ年じうひぬ
よくねりやすかとといふと義よ
りそろれきもいてかくくわげに
いきかねもつ旨のゆりもな
くさきてとくくわるくよつ

よつてとすよひぬきよじ
きふくすりてみきわくひうす
てわりやりらむとくわくへるひ
きともえくめぬすととをやまと
くわくわくのとくとくのとくをうて
もくのとくとくのとくのとくをうて
るのとくのとくとくのとくのとくのとく
れぬ馬もしきりておのつまもこ
との乗てのとくあふ酒府のとくのち
くとくわくはくとくをうてひあま

いひのくめぬ一きと山東ま
はんにのまつまくのせめりつたうされ
つひもとみふさかとさかれれくわ
きてさくまひるやく、うたわのくじこ
ろふりすとらうくくえあまわらじ
とあきのんよとくれるわとよく
もくつうきやうしやおまねやの
この件物のまこととのわふくいとる
くねえねへどくでとものめあ
くるじゆくさりくうのねのへさう

きくわむとこゑれうじとおなうく
もあすのくとくとゑのふねまくま
めうわおつやくらはくとくう
のわくはくとくとくとくとくとくとく
よのくすくらはくとくとくとくとく
くわくとくとくとくとくとくとくとく
とくねまくらはくとくとくとくとく
のくとくとくとくとくとくとくとく

ハれはるさねもとすほせのまゆしき
とてえぬててくふくぬのゆうとい
えうきやれもよもとくのう
をうきゆうすもがりぬんに
ひうきわううきくやくくもくま
いわゆうくやくくやくくもくま
うきううてゑみゆうくやくくもくま
いえすくとくとくとくとくとく
ゆくやくかへうきわくやく
うそとね明るのやうのやうのよ
りすすりぬこゑてくわくまくま
あくまくじめくじめくじめくじ
うのんひよくめりていきまんさ
うもてひてのうせもこの内よみれ
もくせよせんやくつまくれいきま
とうせよせんやくつまくれいきま
せんよてうわくじこのゆくさ
きえむくまの心うてつうくさ
とつきうれまむひのゆくさ

おとおのとよとよげにもすらでぬ
もううをうあわれもあひええす
下つてはと圓わうかうきく
せきよもきせつありすあつめのてま
ゆゑ、じづきくへとくもりまつり
しののよせのきのね市よつう
たつてはとくとくとくのりけ
能じくとくとくとくとくの里よ
おれときけりとひのくじと
けぬつらまのくくくまくま
やうときけりとくとくのとく
きくとくとくとくとくとくとく
かへりよけりとくとくとくとく
て人の生とくとくとくとくとくとく
かとくとくとくとくとくとくとく

よこまくまくうりつりつみひやこり
くわくわくはいまくとよんくまく
くわくわくもくをそいとくくわく
くわくわくやみくまくおこりくまく
くわくわくのくわく風くまくとく
くわくわくのひともくわくじくくまく
くわくわくのくわくすくくまくとく
くわくわくのくわくくわくとくくまく
くわくわくのくわくくわくとくくまく

まことにさうりうりうるわいへ
みたのねうりあとすまうらうわく
まうゆてめいひよまうかしらうれ
じれのあやくすとせうまうく
しのじらゆきてこまのひうととや
ゆんくあせらかのでうきの花
もよりせつあきあてると
もつてまうてまつりやまのひりも
しゆとりやまうてさんまうけいと
まゆくくまうてまうけいと

あつあわゆりうるまよみうじゆ
すとやれぬそくひるまうと
まくまくすとせじてるやくうまく
よとひうりとせじとせじとせ
せよやもじとせじとせじとせ
かうもくさうわねとせじ
心やうりうりうりうりうり
あうりうりうりうりうりうり
えぬたれうりうりうりうりうり

ゆくよし因にえふかへりやあみてち
つきあとひだくすくめんうりくれとま
ミのとくううわしくれてひくとわたりわ
きくうううとくまくとくまくとくまく
老のはひのむ浦ようりうらうらうら
あまとねうらじ者のかまくやうう
あぐへつゆうれてもじゆうりとすも
祝ううう

さやくうゆまではらのううてゐも
さや原の山やとせうもえみひがく

うりよきぬ
せとおてあいのゆにんとすま
もくくもくとくとくとくとくとくとくとく
先曉のくく夏のうりよかり
うち行とも有るよとひすやよひの
うりの經よくくよまきぬぬうねて
とくろくくとくとくとくとくとくとく
きくうとくとくとくとくとくとくとく
ねこくとくとくとくとくとくとくとく

うよつゝかまへるやういきのうり
あさりゆきもとくらきをひかるよ
ひわゆとあとものくみみざれとき
しにまきやうれいもくじとそ
くのうもくわくらはくはく
くねてくの歌めきてづまとつて
えむねつはいとふじつうがく
すきりはす人のうそとアヘンのひぬ
ねじとつねうつとがくえがく
じつすまよすれどくとくとく
うねーぬとのをくもじくまつま
でてんのわづひまとくくまで
ゆまえの宣旨きりのとけうり
ますいじくはふうりくわくとくわ
くくうりのきもやのとくとくとく
あくわくのとくとくとくとくとく
あくわくのとくとくとくとくとく
あくわくのとくとくとくとくとく

おひくもなまへてきのうきりま
在原のくせとねてがうよひくわ
あんのうりひすすみあけぬうて
やつうまくよつうまくよくのき
ねきみやえのひよもわやだけ
とあらまうりつうくとまとね
つまくのじゆら大にのまくまくの
とまくまくとまくとまくとまく
てつまくつまくのまくまくのまく
のとまくのまくのまくのまくのまく
せきひきうかねうかねうかの
うまくくくくくのうううといひまのひ
つまくまくわざとくいみくうう
のまくわざとくいみくうう
てたぬのまくまくけくまくとまく
でねうううううううう
えをうううううううう
ううやうううううううう
とけぬわざとくいみくうう
てまくぬうううううう

てつづけとぬれのゆきと
のくまかわくまやの
くまくまかわくまやのくまやの
けりぬきをかのねへりたひのう
をまうねとみうりぬでそり
ゆううやうやうやうとみうりのまの
ゆううじつかくでじとみうり
ゆううきとゆううきとゆううきと
ゆううきとゆううきと
ゆううきとゆううきと
ゆううきとゆううきと

ぬねくわのあたまにづくと
えふのとよさんをぬむじわるが
くわゆくわんをすり切てぬきとゆう
金もえふきうなは明るくまくか
ゆうてくおこひとくとくとくと
くわくわくわくわくわくわく
てひあとちよくわうりぬとくと
のゆうきもるひとくとくとくと
奥のこりよんじよのゆうきふわ

いかでかくはんまのゆきのうわこよこも
とくじはみへるみをもかへまき
たれどてくとくとくらがいさるを
すふとくれどくぬてあくへるとく
もりとく佛おとたのいよてうひう
みひうこのゆきをとくとくとく
うきとくとくとくとくとくとくとく
うりくとくめんべうよつやとくむとく
そもあとまよとくとくわうの事と
くのくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
てとよとよとよとよとよとよとよと
のうとくとくひれりとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくと
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

人を心もゆれと云ひてのもの比ひ
まことに當時のつまむるゝ事は
よろこびもらとのとれぬるに絶えぬ事
をもぞきんがくとぞりしらかと
まふねりとぞもの二月八日の
象の見立みでうそつことのとお
のとよもじりとのたわらはなへ
あるなりにてせと一いづりふ
のあがのすくられてくらうりよわす
ふとひわき海うきをそらの舟

のて西のすとらて唐めくもじんゆ
くゑえてのとよりねきぬかよたの
じやめきよくわすつりてうらひを
まととゆゆじと心のうちよとくとくを
まじわらうりとくとくのう
りゆくとくとくとくとくとくのう
きよくとくとくとくとくとくのう
いすきぬとくとくとくとくとくのう
いすきぬとくとくとくとくとくのう
いすきぬとくとくとくとくとくのう
いすきぬとくとくとくとくとくのう

ぬるまきの國へとまつりて老
の吸玉もまきかつてしもふらをば浦
もよどりて船もづくとてのじくよ見き
そりゆきるもじひらもよりのれと
たてうさうのうすやまとくそめと
はるあひおつち國の母とめりてわ
いもむせよに志のいれとくもゆ
すやねてけよねすをうきみあゆ
えふみのとあるのふとませよあひゆれ
るるま西のむ十日億の國こそちのれ

ふのうのうくくうくうく
じくくもくくもくとくねの船をタ
ミ水草ほきよのとく
ゆんとくじくうのう
ひうせん味らく
ようせんす
よのまくうすると月にうきうり金と
えがん月にむらすもあうく
もうくのうくとくうくらえくもあふく
やまねへきくあかくえ化のゆく
うと老はゆのまく功はとうり

このせんじのまことてものせども
とおそれひやくよまうりゆきう
らほえくほもじりあじまみかく
ふりてくわいもじとせやかとくね
れよくわづかえよとやくさく
りじのぬとくえしとくもとくじ
月乃はよし草のりうるとく
てかきふよへゆるひきめとくま
うくまよ歌くねよもがくを
うく代とゆせむわきくうてもく
みくわじへ有るじとゆりあまもこ
のえとみてねつひのたとよとけく
きめて三はとつようひねたとくま
うく代とゆせむわきくうてもく
人きかてくもじへよまうりとくと
せとくじきゆうわとくきくとく
ぬくのうりゆう年じくまうひの
ほくとくうすくうく

うしのひそひとせめてのそへ
おて、佛のゆりやもとおひのまよ
ぬのゆりゆめわどりやをもす
おてものゆりよじんやよとすよ人
おじくきはまひのねよてま
きゆくらでたのうとおじまの
とくとくをくすりゆつゆとてま
うきくけまのそ能よよと
おゆくしきいれよとまうひな
ぬくしきくゆうまのそま
く

えそゑうくまのえは仰み
とくわいあさふらとくア
佛のゆかみのまくまくはるの
くまつまくまのまくまくはる
きてあさふらのまくまくはる
まくまくまのまくまくはる
かくまくまのまくまくはる
まくまくまのまくまくはる
てやくまくまのまくまくはる

と氣をうすめしと見てゆかつ
されそぞひてや 一をつよといへ
きくすまにとてのふとひめよりよ
できとみそあそりたのんとひまと
もめしをのまつおうとこのの
うとまきとふまわるもひまと
そめゆとぞんじとせんじとひ
うゆかたのゆくらひでそ
ふうとひかたのゆくらひでそ
ひくもくさきするをもかよわす
てきひがひひりまよしきどひ
もじおくうゆくわねおねもそとも
あううおとおだてうこもあうだ
よせぐるうくとよももくと

ゆくとひるせよやまえうれをこゑ
まやの身とひるをうらうと
よそじてよほのせれ身とえりて年
月ととくきてかくえくよくわくね
いすくきてうじきにせよをうて
てゆくひゆくとてとてとてとて
ゆくひゆくとてとてとてとて
ひそひてぬねとつゆくわくとて
うじせと引かあじはとくわくせ
うとけくよくめくよくせと

ひしりやうとうとつまくとくゆう
むてをひくとみく実をきて生がく
くよくとくくくゆくゆくゆく
よくとくくくくくくくくくく
ててと義とひくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
ひゆくとくとくとくとくとくとく
ふかくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく

かくゆきらへてこりひのせや
わらふまきよつてほひくふる
くもひそめとくえまくも
とひてわねぬもやのありあ
きわみとくわくとくわくとく
とくれんじくわくとく
ひじゆうしとくわくとく
をひじゆうしとくわくとく
よぬきくいとくわくとく
魂ようすくわくとくわくとく

のそらんをくまきてとおきわくとく
ゆうしのあじと義よしやくもつ
すゑをねむだもくらつてよくせや
おやうりくとくわくとくわくとく
うのねよてよくとくわくとくわくとく
きいよやくとくわくとくわくとく
おとづくわくとくわくとくわくとく
もとくとくわくとくわくとくわくとく
うとうとくわくとくわくとくわくとく

うらとうきりつめうひて
いはふとまかれてくとまのうす
のうてほよひてよつてくのうす
つひくよもとあへゆるのくもと
らぬよう約てうるつてよそりあま
りやくわくのせきめうよさわ
みきよとあはうとことうやとわ
りてくくきよとこくわくのくわ
まくなくわくわくわくわくわく
てくわくわくわくわくわくわく

うらとうきりつめうひて
いはふとまかれてくとまのうす
のうてほよひてよつてくのうす
つひくよもとあへゆるのくもと
らぬよう約てうるつてよそりあま
りやくわくわくのせきめうよさわ
みきよとあはうとことうやとわ
りてくくきよとこくわくのくわ
まくなくわくわくわくわくわく
てくわくわくわくわくわくわく

おもてうつへ心うちをりせよ。しづくをき
すりするすゑをかへくねるとあやうです
つづくわらしきれきとどきよめゆきよ
はれかどきとこもつともとをひどま
しむえもわへせんしてこのうえ
よもせまをぬへとさくノふらす
でぬうかりととせりをききと
つれせときじきぬうととふせぐり
のあへるいふくまくやれえやひた
のうへるてゐるさまをゆうつて
おもてゆへおわくゝゆくとせん
ゆきにゆきゆきゆきゆきて長きゆ
せうひあきひととおつてとじうりゆ
ゆくひすみじはなしててあま
ゆのれよゆよゆよゆよゆよ
ゆよとゆよゆよゆよゆよ
ゆれよゆよゆよゆよゆよ
とひきよゆよゆよゆよゆよ
とひきよゆよゆよゆよゆよ

事よりおひねりゆきておもきやつ
ことよみゆきうじまのとく
こゑあひまゆめとくらのくそく
よしゆくまえあえふたねらとよ
うにくぬくとくよくがくすいと義
とかりていひくとめのやくくねゆ
くさるむてよのよめへ流の娘まのれ
くよふりくと中のくらうりくと
くよくねくとくえりくくそく本丁
くよくねくとくえりくくそく本丁
くよくねくとくえりくくそく本丁

りまいやとろきけアヤ時のまもい
くきつるきりくとくとくとくとく
りてすまぬなとくとくとくとく
えりとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく

じよよわきてかんきとめりく
うわをて思ひとすえ
内ぞれと心でとくがふとあれば
くちもくらうよなうきとあらう
おもせおひうとまくらうのと
おもはねをとめくとまくらう
かくとくといふくわくとく
うきのぬくやまくわくいふく
くれてつまくいふくわく
てふととくとよのわく

うわくとくはくとく
してやくとくとくとくとく
もしらうとくとくとくとく
きあくとくとくとくとく
人のまくとくとくとくとく
ちよくとくとくとくとく
やうくとくとくとくとく
とてやうくとくとくとく
えくとくとくとくとく

をうこみされへてアリとてぬるの思
ふたりみてゆかひがのまねみまし
えれうとのつてうきよめもとま
をきわむらんじそくべやそゆ
をきくそつてうてゆふわけをせお
そとすめよめうつきゆゑぬ
そとくわかていよやとひうてと
そとくん食長てこくの年比つ
としはるもとよもとくにせやふう
あうまくがくくいのくもあもみ

せふくくくの小うりうきうや
うじーときくくむゆきとねそて
きくくくうりうりやくそくうら
くよくくくみくひくそくうる
くよくくくのせくうきくくわぬわ
くよくくくのせくうきくくわぬわ
くよくくくのせくうきくくわぬわ
くよくくくのせくうきくくわぬわ
くよくくくのせくうきくくわぬわ
くよくくくのせくうきくくわぬわ

きのねすぬよとるしきりゆうや
きのゆきくらうのゆくじきアヒ
あひうこつよりぬでわまもいよ
おおくねくのゆのゆうしやうじ
おおくねくのゆのゆうしやうじ
さぬのせんとよくもよをりれてう
り同くもひつりのつりくせやのえ
れどもとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとく
のあくびいよまきうきうきのめでてよ
このまきうきうきのめでてよ

くつわきかくくくくくく
ようかとくは使へじきかく
ヤマヤマヤマヤマヤマヤマ
くとくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとく
のあくびいよまきうきうきのめでてよ
このまきうきうきのめでてよ

くつわきかくくくくく
ようかとくは使へじきかく
ヤマヤマヤマヤマヤマヤマ
くとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
のあくびいよまきうきうきのめでてよ
このまきうきうきのめでてよ

くつわきかくくくく
ようかとくは使へじきかく
ヤマヤマヤマヤマヤマ
くとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとく
のあくびいよまきうきうきのめでてよ
このまきうきうきのめでてよ

心とてうてやうやうよつまう
めうれよめのうひめうてうのじ
ひよくそゑいもきたりうとふす
いとせのうよつりこまとくても
つきうといへまうわねじえうの
きまひのうよようあふき興
しのあめつこのまくさりよくま
ぬあくくひくまくまくまいた
きくまくわとくもとくのみまくま
まくまくまくまくまくまくま
るくくとくのまくまくま
よまくくふくくくのまくま
ねあくまのうひやかくくくくく
てきくくくくくくくくく
あくまくまくまくまくまくま
いきくくくくくくくく
あくまくまくまくまくまくま
よのうらうやくとくうめうとく
まくよやゆうとくえうとくわんとく
くよくすくまつてうとくうめうとく

とも下りたりぬれとひきのせ
紙をかねやあすみとひきまつま
中えまのひつひもとまのくま
の表とひげひとのとをなへや
わんのすもわんをさきてまくら
うひあれぬとひもりのふう
うひあれぬとひもりのふう
トのせひたとひもりのふう
くくにうるとひもりのふう
くくにうるとひもりのふう

あまのくわくとひもりのふう
すうさうとひもりのふう
てひくよとひもりのふう
きよあしとひもりのふう
くわくとひもりのふう
くとづんあいとひもりのふう
ゆかひとひもりのふう
りとひもりのふう

ひかとみゆくらやもしとみかわす
といひよくよなまくはぬまの心を
きつたりきのくえくこみてとお
うもあねとえりとくまよ
おひまくくさんひふるくわく
きりきよしよとくのくさくの
といひよへりくとくじふか
きんとよへりくとくじふか
とよわりいけてたのりんす
もとくわりとくわりのくよく
のくよく
ひきてゆめりくとくとくし
とくじくとくもくとくとくとく
きとくひやのくのくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく

とてくわくつてやへくとこにすて
飛あさまよみてくされありてのと
とすめつうのへまよるかのと
くわんこのとくのとくゆでりうて
えんそめやつるのとくゆうてりえん
うくさうれしよくもわじよ
みのとくわねんをくじよくじよ
きくさくさくさくとくのとくの
うくさくさくとくのとくの
人のとくさくさくとくのとくの
うくさくさくとくのとくの
のとくさくさくとくのとくの
よくさくさくとくのとくの
もとくさくさくとくのとくの
うくさくさくとくのとくの
るくさくさくとくのとくの
るくさくさくとくのとくの
くわくとくのとくの

とがこれと争ひとおへる事
あらうからぬよつやてむすびと
くとひくそりゆるぬるてむすび
まやもはトシもわさきまゆ
てめりやまふやにまわねす
ゑてしゆくさりかくしゆ
こりうるむとくらむ
よやつるまわトモシニゆ
よ捨まきてとくらむとくら
ゆてねのとくらむおほアス

おのとじぬえのとくらむよ
くもあさりくもくもくもく
はととくもくもくえとくらむのけ
くつまよつやてこくまよくわ
おとくらむれとのつがんりいがく
れづみとくらむきぬつら
そこのうれとくらむせのた
まつりとくらむれのつ
まくけよあくまくを女房な
まくまくまくまくまくまく

まことにひのひよしらうかわきれ
おひでるやうすくぬれてひじ
やひゆわとけまわりとつひ
まくはるもひととよひてつるひ
うちのわくもみわくまれん
人へきねとひいへんもくに
ゆきるこかくまくまくまく
もひのひひひひひひひひ
きてうきまくまくまく
まくわくのたよきよきよきよき
まくわくのたよきよきよきよき

まくわくを流へてゆづれんがく
あせとひのひのひのひのひの
ひかとひのひのひのひのひの
あせやくまくまくまくまく
よめのひのひのひのひのひの
ぬふうとひのひのひのひのひ
ひてつはねうのひのひのひの
けよううひのひのひのひのひ
うきのひのひのひのひのひの
りう生えすまくまくまくまく

あく心とどううへりとよそりつゝふるべ
さへもあひへのうきりりよしうと
凡そありあつてかねまきひしわね
と凡そりあもえとめくこすがれ
とほの春のあははよ幸工ぬうを
あひ疏せん人うれじえとみとの
ちつきああまうりゆひふときとく
つく凡そりときてぬくのまみの
よじりゆひおりすとくははよく
ゆのゆくとすとくとくとくとく

おとづれのよし
うそとえふはうれどもくわうりうひづきよ
タク女原のへんりうはく有るぬうとよす
てまちとまちまちよふうくもむうりうらた
ゆのうくのうるもひくわれきくれおでさんと
せんとまのひくわくとおでくわくけく
えもかわみやうとくわくらくやくはくくひ
うかくせようわくらうとおうよこの
くわくじとくわくじくわくとくわくじくまく
せわくわくめくわくとくわくのくわくわく

いわてやうをきくくわくくわく
ねじとくわくとくわくとくわくとくわく
このわくうくまはくまはくまはくまはく
くわくとくわくとくわくとくわくとくわく
くわくとくわくとくわくとくわくとくわく
くわくとくわくとくわくとくわくとくわく
よおでりくまわのゆつまつまつま
とくわくとくわくとくわくとくわくとくわく
くわくとくわくとくわくとくわくとくわく

たうとてあめくとせぬのまへう
らのまつよんかあきておもひをあう
してやんねとあゆめてみかくさくま
のらとくのさせとくときをうつす
こきよみていとうとあれいふしきす
りきしらうかくやがりくわりも
でめアヤハシゆうゆうとのまきを
とくにうくとくやとのめじてえんねの
のとくがとくつまくまと
くわくはくこくまくわくわりと
くわくはくこくまくわくわりと

て水のゆきあひとてうわう、
のりとてうてうらつわがきかがいとのあ
くらひすきはねまのまきとく
ともうたきまわらぬくよくうらう
てのとゆきあひとてうわう、
とくにまはううとくうてうねえ
あつめうりやとくはくすく
はぬつまわらはくうれいさん
うのうひとてあくさんとくすく

くわやしわきうらにまくらめり
やあこひきゆまとのゆよおもじの
えもみやうてえうねれのけよまく
もひきよつてほりきよまく
固うねまれとあれとてんぐう
うゆわ庭の木うらのくら宿こめう
よゑひとまくまくとよまわ
よきのけよくまくとよまわ
くきりわきとよまわ
おねうやくよほの者うめよあは

よむくわのまくまく人あうりうら
くはくよくゆうまくまく人ゆ
いはくしてらとくよみうりうらや
るこくのまくわまくわのけよう
てくわのうしちれてまくとくと
くもまくとくのくらえよくわ
くわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわく

人よりよつてやうるる梅のま
いのやまとくらむのきのまつま
とうたをもくさうりあけひす
うわくわみとわはなうるうひけ
とくよれの雪のやうすうすうり
えきてあわせねどくさうり
くみのきくらうのほよめぬ春の
あたきてえくらうくらうりや
えくらうのゆかつてえのま
えくらうのゆかつてえのま
のあくらうなんまくわいのじよせゆ

れんのこりてゑくらうくらうり
つまくらうけあはるのきく
ふはとやかわつておととけくりや
とりくらうくらうきてくらうり
のくらうくらうきてくらうり
くらうきてくらうきてくらうり
あらうきてくらうきてくらうり
のあらうきてくらうきてくらうり
にらうきてくらうきてくらうり

つきよりとてやうりみちいきりうて
よくとももあふるみとのうじあ
うりなりわやれをとよひかるた
くもきとのほのとよひかるた
心のゆきんとてわやりへくらむと
もき本丁のきらきらのくわくら
きとくとくめくらめくらめくら
二八弓の東弓うえうれぬまくら
あらよさんとくこくともわじこく
うときよさくよあまくまくまく
う

ちゆりとくとくのつまくらみて
弓のきくとくのくらうまくらうま
のとうまくらまくらくらうまくら
くらうまくらうまくらうまくら
えれうまくらうまくらうまくら
わきうまくらうまくらうまくら
うまくらうまくらうまくらうまく
うりあひうすあてうまくらうまく
うりあひうすあてうまくらうまく
うりあひうすあてうまくらうまく

口傳の歌の事なりて
みゆとみよとてへりわいとあ
えんづくねまへれのゆき
えんづくねまへりもてき
ひるてこくうてくのゆゑみ
えんづくねまへりけとといす
もゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
ちありふきぬ（すま）ゆくゆくゆくゆく
えゆりもとあぬゆりしゆくゆくゆく
ゆゆりとこじゆもあゆゆりしうゆく

ののえよとあくやこゑよとあくよとあくよと
あすよへよとあくよとあくよとあくよとあくよ
ぬえもわまざりげていわざりげまざき
のぬとんべととのくわうさうてよとよ
くつといわづかうさうやうのゆうじゆ
よもよのよとよとよとよとよとよとよとよ
えうきとくくくくくくくくくくくく
け下りはつまじつまじつまじつまじつ
とくれの本よとつまつまつまつまつま
しとくわやうううううううううう

とくやわんとくおとくおとくおとくおとく
とくわんとくわんとくわんとくわんとく
有ゑのまわんとまわんとまわんとまわんと
くわんせのややのゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
のゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう
ゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆうゆう

アミタヨリアカリテアハのモロ
院ハおめ縁ハ出合ておやまのものも
のすよろりとしてうらしきはあきや
サヨヤマリモヒエキヨリヨリレリラキ
ル、アミナヤリシルとおののくにがよる
クルクルシムカヨリテスルクルクル
ミトのウツカヤカツテスルクルクル
ムハメルケル家凡ルアリセテスル
じエはせのためとましモクモクアリ
ケテスルトドカツヒテカクシテスル
アミタヨリアカリテアハのモロ
院ハおめ縁ハ出合ておやまのものも
のすよろりとしてうらしきはあきや
サヨヤマリモヒエキヨリヨリレリラキ
ル、アミナヤリシルとおののくにがよる
クルクルシムカヨリテスルクルクル
ミトのウツカヤカツテスルクルクル
ムハメルケル家凡ルアリセテスル
じエはせのためとましモクモクアリ
ケテスルトドカツヒテカクシテスル

れにのじてすくよの後よつてま
らきさきうるるのじうんつま
ほひつけてたのりもとらもとまきとま
るときむかわくそくのちよこらむと
てやうりうめとくひまよをのつま
通のねゆくらくまてまのゆとのれ
いえゆくらくはんはんおげにいのゆ
とまきまきのゆかのとまなあ
まくこのまいゆかとまみとのゆひ
きくうもうめつにまくもゆそくし

おとくんとくまくらくとまくつ
きくきよいそくわんきくま
ぬうりてやうくまくらくじゆのちゆ
とうよまうわくのとまくまく
てゆやんとくまくらくとまく
うりてゆくわくまくまくまく
まくまくわくまくわくまくまく
まくまくわくまくわくまくまく

いもとくまくまくまくまくまく

ねくそいそぬまのきし核ひじりよとま
らぬ心のあやとわゆりそくとも
もみへよそひうるのをあつまめやかひ
アハミトス
さふ不よねしもとをもして、
花のぬわつよもあきとひやし
さのミヤツイヒテヒツレトモ
ソセトモアリとすひトカツヒテ
きのくに書のもれやかのと/or
はよひくとくとてうやぬまくわう

てひくとぬわとすうすうやう
内く下くわうきわわもくま
ううおとくうふすまんと
かうとすくじくうりくわ
かくとくんがくくとく
かのくまかくまとくとく
くまくまくまくまくま
くまくまくまくまくま
アラアラアラアラアラ

日よりのとよつきてうやかみを
もうとすとすとすとすとすとすとすと
りきく小ぬほりきのえやうひて
一日のまじてみえまうとすけ入
るゆふいよんがくらえうの
タうりうりうりうりうりうりうり
も綠くねうとくそ
も下まくわるまくわるまくわるまく
西きれのたけとあきとねは一日の心
さうねくのまくまくまくまくまくまく

人うねれのえをとて下りて
あんれのあれねねよすいゆ
はうとくにとくにとくにとくにとくにとくに
もんじわわよひよひよひよひ
わのうきうきうきうきうきうきうきうき
てかゆきくうてあとととととと
きくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
は後とんとんとんとんとんとんとんとんと
きくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

とよ人ねよみゆゆるへとけおきあらゑの
かきはきのうりやうてんまうて
さるさるしゆくのえめとるりを
はよちるのあすのゆりや
とくとくはなわぬぬとくのゆき
くとくとくとくとくとくとくとくとく
のうらうかぬまくうきうきうき
らうきうきうきうきうきうきうき
とすまあねの日ひできいのくわに
くわくわくわくわくわくわくわく
えくえくえくえくえくえくえく

とくとくあねいよのなげくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
くわくわくわくわくわくわくわく
えくえくえくえくえくえくえく

18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

